

審査票

申請者氏名		受験番号		奨学金 * 1.貸与中 2.申請予定 3.無し	1. 日本学生支援機構 * 第一種 (第二種・併用) (月額 88千円)				奨学金年額	
富山 健太		123456			2. 自治体奨学金(名称:) (月額 千円)				1,056 千円	
3. その他(名称:) (月額 千円)										
氏名	年齢	職業	現職の就職年月	給与等	年金等	給与等以外の収入	臨時収入	給与等計(控除額)	所得金額	
本人	富山 健太	22	学生	—	—	—	—	—	—	
就学者を除く家族	父	富山 太郎	54	会社員	昭 平 令元年 4月~	千円	千円	千円	千円 (千円)	千円
	母	富山 花子	50	パート	昭 平 令15年 5月~	千円				千円
	祖母	富山 すず	75	無職	昭・平・令 年 月~	千円				千円
	兄	富山 健人	26	会社員	昭・ 平 令31年 4月~	千円	千円	千円	千円 (千円)	千円
					昭・平 年 月~	千円	千円	千円	千円 (千円)	千円
				昭・平 年 月~	千円	千円	千円	千円 (千円)	千円	
児童手当	受給の有無			続柄	氏名	無職になった年月	失業給付	所得金額合計 (a)		
	* 有・無	R5.1~現在の間で無職になった(失職した)家族について				年 月~	* 有・無	千円		
	受給額(年額)	千円		退職金		* 無・有 (千円) (年 月 日支払)		その他収入合計 (b)		
								千円		
就学者	続柄	氏名	年齢	在学学校			通学区分	特別控除額		
	妹	富山 ありす	20	* 1. 小学校 2. 中学校 3. 高校 大 4. 大学 5. 高専	学校名	2年	* 1. 自宅 2. 自宅外	千円		
	弟	富山 健	17	* 1. 小学校 2. 中学校 高 3. 高校 4. 大学 5. 高専	学校名	2年	* 1. 自宅 2. 自宅外	千円		
				* 1. 小学校 2. 中学校 3. 高校 4. 大学 5. 高専	学校名	年	* 1. 自宅 2. 自宅外	千円		
			* 1. 小学校 2. 中学校 3. 高校 4. 大学 5. 高専	学校名	年	* 1. 自宅 2. 自宅外	千円			
区分	内容						審査欄	特別控除額		
(* 母子・父子)世帯	* 1. 母 2. 父	* 死別・生別 (年 月)	児童扶養手当	* 無・有 (年額 千円)		該当 非該当	千円			
			遺族年金	* 無・有 (年額 千円)						
障害者 (* 有・無)	続柄(祖母)	* 身 体	知的・精神	障害年金	* 無 有 (年額 600千円)	該当 非該当	千円			
	続柄()	* 身 体	知的・精神	障害年金	* 無・有 (年額 千円)					
長期療養者(* 有・無)	続柄 ()	療養期間		医療費 (年額)		該当 非該当	千円			
		年 月 日から現在まで (カ月間)	千円							
風水害等の災害を受けた世帯	被災年月日	被災内容		被害額		該当 非該当	千円			
	年 月 日			千円						
							本人控除	千円		
							父母以外所得控除	千円		
総所得金額 (A) a+b				千円		特別控除額 合計(B)		千円		
認定所得金額				千円		世帯人数 人 収入基準額		全額 千円 半額 千円		
学力	1 成績 () 2 順位 (/)		免除の可否	1. 該当 (全額免除・半額免除) 2. 非該当 (学力・家計・両方)						

太枠の外は
記入の必要なし

記入例

○記入方法 (注意事項)

※色付き太枠内の空欄及び、() について、該当する箇所を全て記入してください。
※ * 印の欄は、該当するものを○で囲んでください。

1 【就学者を除く家族】について

- ① 同一生計の家族 (就学者を除く) を漏れなく記入してください。生計は一であるが別居 (単身赴任、施設入所等) している家族も記入してください。
- ② 「職業」欄は、必ず記入してください。
(例: 会社員、自営業、教員、公務員、パート、アルバイト、主婦、無職 等)
- ③ 収入 (給与等、年金、臨時収入) がある場合は、その職種に応じた各証明書 (別紙参照) を添付してください。 (金額欄への記入の必要はありません)。
- ④ 前年中 (令和5年1月1日~現在) に失職等した場合は、必要事項を記入してください。
(失職した年月、退職金の有無など)
また、各証明書 (別紙参照) を添付してください。

2 【特別控除】について

- ① 各区分について、該当の有無を記入してください。
- ② 該当する場合、右欄「内容」について記入してください。
(ア) 母子・父子世帯: 母子・父子世帯の控除は、以下の世帯構成の場合に適用します。
また、手当や年金等の有無も記入してください。
A 母又は父と18歳未満の子の世帯
B 母又は父と18歳未満の子及び60歳以上で経済力のない祖父母の世帯
C 18歳未満の子の世帯
D 祖父母と18歳未満の子の世帯
E 配偶者のいない兄弟と18歳未満の子の世帯
F 配偶者のいない兄弟と18歳未満の子及び60歳以上で経済力のない祖父母の世帯
※18歳以上の就学者 (本人を含む) 及び長期に療養を要する経済力のない人は、18歳未満の子として扱ってください。
- (イ) 障害者: 身体障害者の場合、等級が1級又は2級の者
知的障害者の場合、障害の程度が重度(A)の者
精神障害者の場合、等級が1級の者
- (ウ) 長期療養者: 「申込時現在において6か月以上にわたる期間、療養中の人または療養を必要と認められる人」に適用します。療養を終えた人は対象となりません。
診療・治療費、入院費用、医薬品費、介護保険法により要介護認定・要支援認定を受けた人がサービスを利用した場合の自己負担額を計算して記入してください。
- (エ) 風水害等の災害の被害額: 最低限度の医療、家具の購入費、修理費等を記入してください。
※内容が分かる領収書等を添付してください。
※被害額や復旧費をそのまま控除するものではありません。

※ 別紙「入学料等免除等申請書に添付する証明書等」をよく読み、添付書類に不足等がないよう十分注意してください。

※色付き太枠内の空欄及び、() について、該当する箇所を全て記入してください。
※ * 印の欄は、該当するものを○で囲んでください。

担当者チェック欄